

JWAF journal



日本勤労者山岳連盟

2024 11

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者／川嶋高志 発行年月／2024年11月



立山・室堂

「雪山歩き始め」

前日に快晴の龍王岳東尾根を登り、この日は雷鳥沢キャンプ場から下山するつもりだった。予報通り朝から空は厚い雪雲で覆われており、あたりは静まり返っていた。室堂に向かう途中、初冬の雪山を楽しんだ人たちの帰る姿が見えた。

(林弘幸・須磨勤労者山岳会／兵庫)

- 55名が参加
第24回全国ハイキング交流集会 IN 伊豆
- 11月9－10日・第1回海外山行交流集会
プログラムと発表者が確定

■ ハイキング委員会 北は宮城・福島県から西は岡山・兵庫県まで 16 地方連盟、35 団体、55 名が参加

第 24 回全国ハイキング交流集会 IN 伊豆



●記念講演は「いまさら聞けない天気常識」

野尻英一さんが講演

10月5日(土)～6日(日)静岡県連盟主管で開催された「全国ハイキング交流集会」では、登山時報でおなじみの気象予報士・野尻さんが「雨はどうして降るのか、雪はどうして降るのか」など気象の基本を分かりやすく講演。さらに、天気図はいつ、どうしてできたのか、スマホなどでのネット情報の活用方法なども詳しく解説。あっという間の1時間半だった。多くの参加者から「わかりやすく納得できた」と感想が寄せられている。

●3つのクラブが活動報告

コロナ禍で大きな打撃を受けたハイキング層がここ1～2年で立ちなおし、多くの経験を出し合う、励ましあう集会となった。初日の活動報告では、登山教室を地方新聞社と連携して開催、毎年数十名の会員を獲得している山陽カルチャーマウンテンクラブの経験が報告された。又、大田ハイキングクラブからは、平均年齢73歳の運営委員会を大幅に若手と交代、67歳に引き下げたという成果が話され、その結果、運営委員会での議論が今まで以上に活発になったという。さらに前橋ハイキングクラブからは、地域で長年続けてきた登山活動が大きく評価され「群馬県生涯スポーツ優良団体」として表彰されたという報告があり、クラブでは「嬉しい表彰だが、責任も重い」と会員同士が話し合い、活動の飛躍が期待されている。

●3つに分かれて分散会・延べ3時間余り交流・討論

分散会では記念講演や活動報告などを参考にしながら、それぞれの会・クラブの現状の交流・討論を二日間にわたり行った。やはり多くの参加者から「高

分散会で熱心な討論



葛城山観天望気
ハイクに20名
を超える参加者

齢化」問題は苦勞しているという意見があった。それでも36歳の娘と母親が会員とか、パーティを途中から「登頂組とそうでない組」に分けて無理をしない山行を実施したり、過去の山行データを渡し、リーダーを依頼してうまくいっている等、少ないながらも成功例が話された。又、9月末に妙高山で会員の病気の死亡事故があったが、会員の既往症の管理は、まだきちんとした成功例はないようだ。会員拡大では登山教室等からの入会の例は少なかったが、ホームページ等ネットからの例が多く出された。

●交流ハイキングは3コースで！

見えてきた今後の課題

6日11時頃から快晴の中、葛城山観天望気ハイキング、大仁城山ハイキング、伊豆長岡温泉・七福神めぐりと参加者の多くが交流を深めた。依然として解決策の少ない「高齢化対策」をはじめ「会員拡大」「リーダー養成」などの課題解決の展望も少しずつ見えてきたようだ。同時に「対面での交流集会」のあり方も今後の課題といえよう。主管の静岡県連盟や広域ハイキング委員の奮闘で成功した集会でもあった。

■ 海外委員会 11月9-10日 第1回海外山行交流集会 当日発表者とプログラムが決定

海外山行交流集会の主なプログラムをご紹介します。

11月9日(土) 13:30～ 登山報告

- ① ネパール沢登り 小林敏之(静岡勤労者山岳会/静岡)
- ② 喜寿記念のマッターホルン登山 池田壮彦(佐久山の会/長野)
- ③ ナンヤカンガ(毎年単独で) 坂井壮多(船橋勤労者山岳会/千葉)
- ④ ツクチェピーク 伊藤仰二(同人クライミングファイト/東京)
- ⑤ ガンバルゾム他北壁登山 西田由宇(北大山の会)

※終了後に懇親会

11月10日(日) 9:00～ 特別講演 近藤和美氏

『ヒマラヤ登山 これまでとこれから～超高峰登山の変遷考察』

10:30～ スライド上映 近藤和美氏

『NO LIMIT ある雪豹登山家の足跡』

10:40～ 登山報告

- ① 埼玉県連・インドヒマラヤ・ガンゴトリ山群トレッキング 山中芳樹
- ② 埼玉県連・インドヒマラヤ・ガンゴトリ山群登山・カリンディ峰とベビーシブリン登山 真華丸

◇ 会場:日本勤労者山岳連盟

◇ 参加形態:宿泊・日帰り可。ZOOM 参加も受付中!

◇ 申込締切:10月31日 右上のQRコードから申し込めます。

※締切を過ぎて参加を希望する場合は、労山事務局までお問い合わせください。

集会の詳細↓



集会の申込↓



■ 京都府連 京都労山自然保護セミナー 北陸新幹線延伸計画の環境問題を考える→→→

3月に開業した北陸新幹線敦賀駅から金沢方面へ2kmの距離にある中池見湿地は、ラムサール条約締結湿地です(2016年締結)。そのエリア内を通る北陸新幹線深山トンネルの工事により、深山を集水域とする湿地内の沢水が枯れ、源流部や下流の水田に生息していた数種のトンボが見られなくなるという事態が起きました。これに対し、長年湿地の保護に係わってこられた地元のNGO「中池見ねっと」などと日本自然保護協会(NACS-J)の働きかけにより、事業主体鉄道・運輸機構(JRTT)は代償措置を取るに至りました。その経緯を、担当されたNACS-Jの福田真由子氏にお話いただきます。

現在計画中的敦賀駅から京都までの延伸ルートは、京都丹波高原国定公園の中央を縦断します。工事によって、環境や生物多様性の毀損を招くことがあってはなりません。由良川源流域を中心とした京都丹波高原国定公園の自然についても学習し、この計画の問題について考えます。

「中池見湿地の取組に学ぶ 市民によるモニタリング調査の重要性」

日時:11月30日(土) 13:30～16:30頃

場所:京都教育文化センター301号室

講師:福田真由子氏(日本自然保護協会生物多様性保全部)、参加費:300円。京都労山のふるさとの山である北山の自然を、巨大工事の環境破壊から守るため、多くのご参加をお待ちしています!

※オンライン参加も準備中



詳細↑

■ 労山特価でお分けします

人気の登山詳細図シリーズ

最新作「大菩薩嶺」

中央線沿線の山

滝子山・三ツ峠山 前184コース

労山会員の守屋二郎さんが、実地を踏査して作成した大人気のシリーズ最新作。

税抜き本体価格¥1400のところ、労山会員割引で¥1120 プラス送料。申込:労山事務局 jwaf@jwaf.jp



部・局・専門委員会の活動

■ 海外委員会

海外山行交流集会準備のため臨時委員会を開催

10月8日(火)Zoomで、第1回海外山行交流集会(11月9-10日)の開催に向けて、①集会報告者5件、②プログラム、③資料集作成要領、④参加申込状況(宿泊者については、参加申込受付を終了しているが宿に空きがあれば参加可能として申込受付を継続)、⑤Zoom参加者の対応(資料集をクラウドにアップ)、⑥予算(講師謝礼、報告者・委員費用、資料作成費用など)、⑦開催までのスケジュールなどの確認を行った。

今後は、上記各項目の最終的な検討・作業に取り組みます。具体的には、臨時委員会を2回(Zoom、対面)開催し、「資料集」の作成・編集作業および記念講演講師や海外山行報告者を交えた夕食会(懇親会)などの準備を行う。

(海外委員 安彦秀夫)

■ 労山基金運営委員会

労山会員以外の方に給付する制度

労山基金には基金規定の細則-6に付加見舞金制度がある。山岳会や地方連盟で主催する公開行事や公開山行で、会員外の一般参加者を誘う時に、死亡または傷病事故があれば(行方不明も含む)、見舞金を交付する制度である。交付額は(1)死亡・行方不明、または後遺障害を残す重度の傷病には30万円、(2)2日以上入院または20日以上長期通院を要する重度の傷病には10万円、(3)短期の通院(1日以上~20日未満)などの治療を要する軽度の傷病には3万円。交付条件は規定を参照。

労山基金とは別の「短期掛け捨て保険」は、山岳会や地方連盟で計画する公開山行やバスハイクなどの行事開催時、また新人会員が加入した際のお試し山行など、労山基金加入者以外の者と山行をとにもする際の備え、および上乗せ補償である。労山基金や山岳保険、スポーツ保険などに入っていない方に、会員であるか否かを問わず保険をかけることができる。今年度は2024年8月から開始したので再度お知らせする(労山ジャーナル7月号の2頁に案内済み)。ホームページに掲載しているので、以下を参照されたい。労山ホームページ→労山基金→短期掛け

捨て→労山短期掛け捨てプラン(保険)。2023年度のプランとは保険料、申込方法、保険対象が変わったので注意されたい。

●保険料: ※昨年より安価に。

ハイキングタイプ:200円、登攀タイプ:2,000円。

●保険対象:労山会員・会員外を問わずどなたでも。

※ただし申込手続きできるのは労山会員のみ

●申込方法:山行日前日までに、所定の申込書を全国連盟へ提出し、保険料を振り込む。※昨年度のような行事登録は不要。

●申込書式:所定の書式に保険対象となる方の住所、氏名、生年月日、性別(空欄可)、職業を記載。

能登半島地震救援募金

4,351,475 円

が集まり、石川県連へお渡ししました。

全国労山では能登半島地震の受付を終了します。

ご協力をありがとうございました。



石鎚山系の大剣小剣尾根をアルパイン登攀中の山の子会員
(愛媛県連)

労山基金 2024年9月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	兵庫	60代女性 3口	2023/09/10 07時30分頃	台高・大峰山系、大台ヶ 原、大杉谷・沖見沢	無雪期 登山	転倒	桃ノ木山の家を6:30出発、セツ釜吊橋を過ぎ、7:40頃「沖見沢」でスリップ転倒。右手を強打。右手手首から腫れあり、湿布・三角巾等で応急処置。本人ショック性で血圧低下。防寒と痛み止めを促し、警察・消防に救助依頼。大台ヶ原から山ルートと空中救助の両体制で向かってもらいへり搬送。	右手橈骨遠位端骨折
2	道東	50代男性 5口	2023/09/16 09時30分頃	大雪山系、化雲岳 クワウンナイ川	沢登り	転倒	1m位の立っている浮石に右足から体重を乗せた瞬間、浮石が倒れて転倒した際に、全体重と勢いを右ひざの内側にねじる様な形になった。	十字靭帯断裂、側靭帯 (外側・内側)損傷
3	道央	60代男性 5口	2023/09/23 07時00分頃	日高山系、コイカクシュ サツナイ岳、山頂から 下った稜線	無雪期 登山	転倒	1:45札幌川ヒュッテ発、6:50コイカクシュサツナイ岳頂上着。頂上の下りからハイマツの藪が濃くなり、数ざししながら進む。その途中ハイマツを踏み抜き、無防備（すねあてを途中の河原で落とした）の左膝を岩で強打した。その後、1839峰を登頂し自力下山した。	左膝前十字靭帯部 分断裂
4	東京	60代女性 5口	2023/09/24 05時45分頃	北ア、槍ヶ岳 千丈沢乗越付近	無雪期 登山	転・滑落	槍ヶ岳山荘から西鎌尾根を経て双六へ向かう途中、千丈沢乗越の手前で足が縫いバランスを崩し滑落（約5m）。手足に異常はなく、自力で登山道まで戻ったが、額を裂傷していたため応急止血を行った。予定を変更して槍ヶ岳山荘まで一旦戻り休憩した後、槍沢経由で上高地へ下山し、日程を繰り上げて帰宅。	外傷性頸椎症候群
5	兵庫	50代女性 5口	2023/09/23 10時40分頃	鈴鹿山系 神崎川本流	沢登り	転倒	鈴鹿・神崎川本流の例会にて遡行中に転倒し手首の骨折と肘の脱臼、損傷。入渓後1km程歩いた付近にて左岸を高巻きた後、張り出した岩壁を超えたあと1.5m位の高さからのクライムダウンで着地に失敗し足が滑り手をついた際に怪我。左手の様子と痛みから骨折と自身で判断しメンバーに告げる。	左橈骨遠位端開放骨折 左肘関節脱臼
6	福岡	40代女性 5口	2023/10/07 12時10分頃	九州・沖縄その他、鉾 岳、鉾峠岳山頂	無雪期 登山	その他	リーダーのドローンをキャッチしようとしたところ、回転していたプロペラが顔面に接触し、下口唇を裂創。	口唇裂傷 下顎切創
7	福岡	50代男性 10口	2023/09/16 15時00分頃	九州・沖縄その他、八面 山、中部エリア	登攀	その他	クライミング中右足に乗り込んだ隙右ひざ痛出現。9/22整形外科受診。半月板損傷の疑い。10月7日MRI撮影。右膝半月板損傷と診断、痛み続けば手術を勧められた。	右膝半月板損傷
8	東京	40代男性 10口	2023/09/17 18時00分頃	越後三山、末丈ヶ岳、苗 場山、本谷山、中尾ツル ネ 標高1296m付近	沢登り	疲労に伴う ビバーク	事故者と介添者を現場に残して、救助要請のために現場から移動した者が通信可能地点で救助要請し、事故者と介添者がヘリコプターで迅速に救助されて事故者が医療機関に収容された一方、救助要請した者が長時間行動で下山しきれずにビバークをした。	疲労に伴うビバーク
9	道央	30代男性 10口	2023/12/03 11:00頃	北海道その他、カミホロ カメットク山、下降尾根	積雪期 登山	転・滑落	所属山岳会の氷雪入門の下山中に足を捻った。転倒はしなかったが右膝に痛みを感じる。そこまで酷い痛みではなかったので自力下山した。帰宅途中から痛みが増し、翌日12月4日腫れているのを確認、12月5日病院受診。	右膝外側半月板損傷
10	福岡	70代男性 5口	2023/12/08 13時07分頃	中国・四国その他、四王 司山、山口県下関市	無雪期 登山	転倒	11:35 下関市 四王司山に登山。12:00 山頂に到達。13:00 下山開始。13:07 玉上氏が登山道でスリップ。とっさに登山道脇の枝を掴んだところ、左手薬指第二関節部分が小枝に強く当たり負傷した。腫れ痛み軽微のためエアーサロンパスで応急処置をして下山。14:15 下関市・簡井整形外科にて診察。	左環指中節骨骨折
11	徳島	60代女性 3口	2023/12/16 14時30分頃	氷ノ山、東尾根1140m	無雪期 登山	転倒	氷ノ山無雪期登山、下山中東尾根1140mにてバランスを崩し転倒。	左橈骨遠位端骨折
12	長野	30代男性 10口	2024/01/12 20時00分頃	ボルダリングジム	人工壁	転・滑落	クライミング中マットに落ちた際、マットの衝撃吸収材の薄くなっている箇所に背中を底打ちした。翌13日に病院で診察してもらいレントゲンCT撮影後、脊椎の一部が欠けていることを確認。入院手術は不要で4週間の安静と言われた。	第一腰椎圧迫骨折
13	栃木	60代女性 5口	2024/02/12 09時00分頃	蔵王連峰、熊野岳 蔵王ロープウェイ山頂駅	積雪期 登山	転倒	蔵王ロープウェイ山頂駅を出た所で凍った地面に足をとられて転倒し、その際右手を付いて手首を骨折した。	右橈骨遠位端骨折
14	兵庫	80代男性 5口	2024/04/06 12時20分頃	六甲・金剛・和泉山系 行者尾根〜ハーブ園分岐 迄の真ん中程	無雪期 登山	転・滑落	12：20 学校林道分岐〜ハーブ園に向かって真ん中程の下山途中の登山道。岩とか根とかがあり足場は余りよくない下山道でつまづいたようで、4m程登山道を駆け下り転倒。10分程その場で休み本人が大丈夫とのことでハーブ園に向かいロープウェイで下山。	右側腹部打撲、右第5 6陣旧性肋骨骨折、右 肩関節周囲炎
15	千葉	40代男性 5口	2024/04/14 13時00分頃	関東・甲信越その他、長 沢ロック、北壁大スラブ	登攀	転・滑落	リードで登攀中、4クリップ(高さ6〜7mほど)ほどかけたあと、次のクリップに向けて登っていた際、左足がずり落ち数十センチ岩壁をずり落ちる。その時、右足首に体重がのってしまい、内側に曲げられ、右足首を骨折した。	右足首（距骨）骨折
16	栃木	70代女性 1口	2024/04/20 13時00分頃	西上州・妙義、富岡アル プス・吾妻山	無雪期 登山	転倒	吾妻山から第五峰を下っている途中に足を滑らせ転倒し足首を痛めた。湿布を張り緊急用下山道から下山した。	左足首の圧迫骨折
17	滋賀	50代女性 1口	2024/04/28 09時20分頃	近畿地方その他、伊吹山 地新穂山、津又谷峰谷林 道(690m)付近	無雪期 登山	転倒	事故者が倒木を跨いだ際に左足スパッツの靴底バンドが外れ、それを右足で踏みバランスを崩し左を下に転倒した。立ち上がり歩こうとするも痛くこれ以上登れないと言われ、山行を中止、事故者を背負い全員で車へ戻って病院へ。即入院された。	左大腿骨頭部骨折
18	神奈川	60代女性 5口	2024/05/04 11時30分頃	奥武蔵・秩父、伊豆ヶ岳	無雪期 登山	転倒	山頂を越え、中ノ沢頭に向かう急な下り坂で、右足つま先を木の根に引っかけて、前のめりに転倒。ストックを持ったまま右手をついてしまい親指の付け根を痛めた。応急処置として湿布をし、そのまま下山。右の手のひらが腫れてきたので、湿布をして様子を見た。腫れは引いたものの、痛むので受診。	右手母指靭帯損傷 右手母指中手骨挫傷 右手母指内転筋損傷
19	兵庫	50代女性 5口	2024/05/26 14時00分頃	六甲山、黒岩谷西尾根、 下降点七曲り分岐より 300m〜350m手前	無雪期 登山	転・滑落	夏山登山教室実技で、六甲最高峰から下山中に、滑落事故と救助活動における事故が発生した。Aが登山道の枕木に足をひっかけて、バランスを崩し、右の傾斜側に10m程、数回回転しながら滑落した。BはAを助けるために即時に傾斜を下りAの手前で転倒、一回転して、Aの手前で止まった。その際に左手首を骨折。	左殿部打撲症
20	道央	60代女性 3口	2024/06/09 14:00頃	北海道その他、富良野岳	無雪期 登山	転倒	原始が原滝コース下り2段の滝を過ぎて150m辺り。渡渉中に石で足を滑らせ水中に転倒。右腕について痛みを感じたため、三角巾で吊り他メンバーの補助を受けながら下山。	右手手橈骨遠位端骨折
21	鹿児島	60代女性 10口	2024/06/05 12時20分頃	日光男体山 八合目付近	無雪期 登山	転倒	八合目付近岩場の下りで、足を滑らせて転倒し、左脇腹と左手小指を岩にぶつけた。	左第8肋骨骨折、左小 指MⅠ関節靭帯損傷
22	滋賀	60代男性 7口	2024/06/23 08時00分頃	大雪山系、ウベベサンケ 山、登山開始地点〜 P1399	登攀	虫・動植 物	登山中にマダニに刺されたと思われる。場所と時間は不明。同行者もマダニに刺された。翌日刺された部分が腫れたので皮膚科に行きマダニを除去。	マダニによる腫れ
23	滋賀	60代女性 3口	2024/06/23 08時00分頃	大雪山系、ウベベサンケ 山、登山開始地点〜 P1399	登攀	虫・動植 物	登山中にマダニに刺されたと思われる。場所と時間は不明。同行者もマダニに刺された。翌日刺された部分が腫れたので皮膚科に行きマダニを除去。	マダニによる腫れ
24	兵庫	70代女性 1口	2024/06/16 14時00分頃	五峰山 播磨中央公園	無雪期 登山	転倒	下山後、最寄りの滝野駅に向って歩行中、播磨中央公園内の道に出ていた木の根に右足を引っかけ転倒した。右足膝に打撲及び擦傷を被る。また転倒の際に左手で身体を支えようとして左手首を捻挫した。	右膝打撲・擦傷、 左手首捻挫
25	大阪	70代男性 10口	2024/07/22	大台ヶ原トロッコ道の白 サコ〜大蛇ヶ原3分の 2ほどの地点	無雪期 登山	現時点で 不明	7月22日単独日帰り山行だったが、22日中に帰宅しなかったため家族が23日0時06分に警察に届け出。23日朝から奈良県警吉野署と消防による捜索とココヘリ捜索により山中の崖下で発見されたが、23日19時過ぎに死亡が確認された。	死亡（出血性ショッ ク・右胸腔内出血・大 動脈離断・胸部打撲・ 頭蓋骨骨折・脊柱骨 折）
26	道央	70代女性 3口	2024/07/13 10時00分頃	北海道その他、石垣山、 藪の中520m付近	無雪期 登山	枝はね	道無き枯れた笹藪を掻き分けながら歩行中、突然、目に鋭い物で刺された痛みを感じそれが、自分で掻き分けた笹である事を理解した。突然で逃げ様がなかった。涙が出て痛みもあり、下山後に受診した。	左目角膜剥離
27	福島	60代男性 5口	2024/07/07 12時00分頃	吾妻山、中津川	沢登り	転倒	遡行中に右岸スラブ通過の際、固定ロープに頼りすぎて早く通過しようとした時にスリップ転倒した際、右膝、右肩を打撲したものの。	右膝右肩の打撲傷 (右肩の腱損傷)
28	兵庫	70代男性 5口	2024/07/16	大雪山系、白雲岳〜化雲 岳〜天人峡の縦走路	無雪期 登山	虫・動植 物	下山後、背中にマダニが付いているのを発見した。そのままにして、翌日、病院でマダニを取り除いてもらい、塗り薬と飲み薬を処方してもらった。その後1週間以上たっても熱などは出ず、感染症などは発症しなかった。	マダニによる咬傷
29	兵庫	60代女性 5口	2024/07/16	大雪山系、白雲岳〜化雲 岳〜天人峡の縦走路	無雪期 登山	虫・動植 物	下山後、背中にマダニが付いているのを発見した。そのままにして、翌日、病院でマダニを取り除いてもらい、塗り薬と飲み薬を処方してもらった。その後1週間以上たっても熱などは出ず、感染症などは発症しなかった。	マダニによる咬傷
30	東京	70代男性 1口	2024/08/23 17時30分頃	北ア、奥穂高岳、天狗の コルから天狗沢下山中 2700m付近	無雪期 登山	虫・動植 物	天狗のコルから天狗沢下山中に、2700m付近で滑落。ポール2本折損するもケガ無し。天狗沢から岳沢小屋への入り口へのペンキ印。踏み跡を見越して下降してしまい、17時30分頃、時間的・体力的に引き返すのは無理と判断して救助要請をしその場でビバーク。翌朝、山岳救助隊3名と共に下山した。	疲労

※口数等：（団＝団体口数、（個＝個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

▲ 事故報告

■ 遭難対策部

登攀や沢登りでの転滑落に注意を

9月30日までに届いた事故一報は、33件33名。今月の事故原因は、転倒が8名、転・滑落が13名、虫・動植物が2名、落石が1名、道迷いが1名、病気が2名、その他が6名。登山形態は、無雪期が22名、登攀が5名、沢登りが4名、海外登山が1名、積雪期が1名。下山中の事故は8名(内5件が転倒事故)。

今月はヘリ搬送されるケースが2件発生している。うち1件の事故は、妙高岳黒沢池小屋で体調不良によりヘリ搬送されたが、死亡が確認された。原因は現在不明。他1件は、熱中症のため動けなくなり、ヘリ搬送された事例。普段からの予防や初期症状に早めに気づく対応が大切。道迷いの事例も1件あり、ビ

バークして翌日に救助隊3名と共に下山。より周回の計画と準備が必要であった。高山(北アルプス等)では、高齢者の転・滑落事故が多かった。岩で滑ったり、バランスを崩したり、足を踏み外したりと2mから50mまで滑落・転落している。中には、死亡事故に繋がる事例もあった。登攀系(沢登り含)でも高齢者の事例が多く、支点工作中や移動中の滑落、懸垂下降でのロープのスポ抜け、カムの抜け落ち等が発生した。何れも初歩的な技術が不足していた事例である。

10月上旬に行われた若手クライミング講習会でも、基本技術の訓練を繰り返し練習した。技術では、その利点と欠点を知ること、用具については必ず取扱説明書を読み正しい取扱いを知ることが重要だと伝えた。(遭難対策部長 石川昌)

9月1日から10月1日までに届いた事故一報

	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	8/24	新潟	55	女	五頭山 西小倉沢	沢登り	転・滑落	450m付近の小滝を遡上中、ある程度登り切った所で右足を水圧と岩の滑りですべり、滝壺にすべる様に滑落。下山後に傷を確認すると結構な切り傷だった為、救急病院で治療をした。	右膝挫創 左下腿挫創
2	8/23	東京	75	男	奥穂高岳	無雪期 登山	道迷い	天狗のCOLから天狗沢を下山中に、2700m付近で滑落。天狗沢から岳沢小屋への入り口へのペンキ印。踏み跡を見過ごして下降してしまい、時間的・体力的に引き返すのは無理と判断して救助要請をしその場でビバーク。翌朝、山岳救助隊3名と共に下山した。	疲労
3	8/12	千葉	55	男	常念岳	無雪期 登山	転・滑落	前常念岳山頂直下の岩場で岩から岩へ移る際にバランスを崩し、後ろ向きに転倒した。そのまま2mほど岩場を滑落。頭部もノーヘルメットの状態で岩に打ち付けた。	擦り傷、打撲
4	8/18	大阪	60	女	箕面山	無雪期 登山	その他	登山中に両ふくらはぎが張って2度こむら返りがおきた。	両下腿肉ばなれ
5	8/17	兵庫	78	男	大岩が岳	無雪期 登山	転・滑落	岩場を登り始めた時に不注意に足を置いたことがバランスを崩すことになり横転。横に回転し1メートル程度落下。岩に左わき腹より背中側を打撲。よく日曜整形外科で受診、骨折と診断された。	ろっ骨骨折
6	9/1	岩手	74	男	千畳敷	無雪期 登山	その他	下山開始後、90分位歩いた所で土の段差に、足首を捻って転倒。事故原因は足首をくじいて転倒ではなく、左足首を外側にひねったため。	左前距腓靭帯損傷
7	5/3	京都	70	男	猿ヶ馬場山	積雪期 登山	その他	残雪期しか登れない登山ルートが無い山のため、ヤママップとヤマレコの軌跡通りに山行。倒木近くの雪だまりに左足を踏み抜き、右足が残ったギャップで腰を痛めた。	腰痛(腰骨のズレ及び筋肉痛)、仙腸関節痛 症候群症
8	8/18	長野	73	女	蓼科山	無雪期 登山	その他	蓼科山荘上部の大岩を登っている時、岩に乗り込んだ際に膝を捻り痛めた。	圧迫痛
9	9/1	鹿児島	74	男	矢岳	無雪期 登山	虫・動植物	下山入浴後帰宅途中、腹部2ヶ所(右腹部ベルト上あたり)の出血に気付く。虫に咬まれた跡あり。右ふくらはぎ・左ひざ上1ヶ所の出血もあり、受診。	虫刺され
10	9/8	宮城	51	女	虎毛山	無雪期 登山	転倒	赤倉沢トラバースのゴロ口を歩いていた時、一枚岩にうっすら苔むした部分で片足が滑り、バランスを崩し転倒。岩の上で転倒した為、全体重が左足首に乗り負傷。	左足首骨折
11	8/10	青森	66	女	梵珠山	無雪期 登山	虫・動植物	登山歩行中、スズメバチの巣の付近を通過しスズメバチにふくらはぎを刺され、腫れと痛みがひどかった。	虫刺され
12	9/4	埼玉	77	男	前穂高岳	登攀	転・滑落	北尾根3峰の最終ピッチで確保支点を工作中に足を滑らし2m程滑落した。	腰椎打撲
13	9/5	埼玉	65	女	浅間山塊	無雪期 登山	転倒	バンドを下降し、囊の河原の平面に入る前、傾斜が緩くなってきた辺りでつまづき転倒した。下り斜面のためスピードが出ていたので、前のめりに転倒し、全身を強打した。	胸部・両膝・右前腕打撲
14	9/7	東京	52	女	塔ノ岳	無雪期 登山	転倒	大倉尾根を下山中に丸太をまたいで右足を着地した際に足首を外側に捻った。転倒はしなかったものの痛みがあったのでその場で少し休憩。その後痛みもおさまり下山。	右後腓骨筋腱損傷
15	9/15	奈良	57	女	劔岳	無雪期 登山	転・滑落	早月小屋から午前6時頃に下山を開始し、標高1350m付近で木の根道の谷側を歩いている時に足を踏み外し、谷側に50mほど滑落した。	左前腕開放骨折、肋骨骨折全身、打撲
16	9/8	兵庫	60	女	蓬萊山	沢登り	転・滑落	滝の高巻き道をロープを使って下降中、足下が崩れ、滑り落ちる身体を止めようと足を踏ん張った際に足首をひねった。	捻挫

※A2-126	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
17	7/28	栃木	64	女	北横岳	無雪期登山	転倒	双子池ヒュッテから大岳・北横岳に向う途中、大岳分岐点手前の岩石帯で苔むした岩石で足を滑らし転倒、とっさに右手を先に強く突いた為、右手首を痛める。	右橈骨遠位端骨折
18	9/13	神奈川	54	女	小川山	登攀	転・滑落	懸垂の2ピッチ目にて懸垂最後の1mでスポ抜けて滑落、その後登山道を2～3メートル下落。左肩と右足に痛みがあり立てない。右足を添え木とテーピングで固定の上背負いで下山。	右距骨粉碎骨折
19	9/14	栃木	61	女	ジャンダルム	無雪期登山	転・滑落	ジャンダルムから奥穂高岳に向かって約20分経った頃、転倒して5m程滑落。左目を打撲し腫れて自力歩行不可能となり救助依頼。約20分経過後に自力歩行可能となり、到着した岐阜県警4名に応急手当を受けた後、確保されて自力歩行で穂高岳山荘に到着し宿泊。警察の勧めによりヘリにて松本相澤病院に行く。	眼窩底骨折
20	9/16	埼玉	59	女	仙丈ヶ岳	無雪期登山	転倒	早朝、ヘッドライト装着にてこもれば山荘を出発。山道を下り始めた際、木の根っこに足を取られ仰向けに転倒。その際左手をつき、手首が痛み動かしづらくなった為、応急処置としてテーピングをした。	左橈骨遠位端骨折
21	9/16	宮城	66	男	鳥海山	無雪期登山	その他	鳥海山の下山途中、石と石の間に右足が挟まり強く捻った。	右足関節外側靱帯損傷
22	9/21	道央	74	女	ニセイカウシュッペ	無雪期登山	その他	段差のある岩の所で、先頭が岩に足をかけ登ろうとしたが滑って落ち、その衝撃で多分ストックだと思うが鼻の辺りを打ち、暫く痛み赤くなって腫れてきたので、少し休み進んだが、気持ちも悪くなり引き返した。	顔面打撲
23	9/14	和歌山	79	男	玉山	海外登山	転倒	休憩しようとザックを下ろそうとした時ザックの重さに体が振られ、登山道から外れて藪の中に約1m転落した。	打撲
24	9/14	愛知	82	男	継鹿尾山～西山	無雪期登山	病気	熱中症のため歩けなくなり、119番に連絡。ヘリコプターにより搬送された。	熱中症
25	9/14	東京	49	女	夏油三山経塚山	沢登り	転・滑落	滝の登攀中にホールドが剥がれて5m程滑落。カムを入れたがはずれてしまった。	左足首・右踵の骨折
26	9/22	兵庫	66	男	笠ヶ岳	無雪期登山	転・滑落	天候は雨で風も強く、抜戸岳分岐から杓子平への登山道の中ほどから雨水で急流になっており、登山道は途中から見えない状態。迂回のためやむを得ず草の上をストックで探りながら慎重に歩くが、雨で滑り転倒、1～2m滑ったときに左膝を捻ってしまう。	左膝靱帯損傷
27	9/23	奈良	75	男	百丈岩	登攀	落石	到着後、荷物を置き準備をしていると突然、落石が発生。順番待ちのクライマーが「落石や～」と叫びながら防御体制をとる。私も飛び跳ねて落ちてくる石を避けようと右側に身を寄せたが、よけた方向に飛んできた。避けようとしてバランスを崩し転倒し、地面の石に頭を強打した。	左前頭部挫傷
28	9/24	宮城	66	男	カムイエクウチカウシ山	無雪期登山	転倒	カムエクハノ沢を下山中、ゴーロを歩いていた時、靴底に砂が付いたフェルトシューズが石の上で滑り転倒。約70cmほど下方の岩に着地したが、膝のクッションが効かないまま全体重が右足首に乗り負傷。	右足首捻挫
29	8/28	東京	76	男	妙高	無雪期登山	病気	27日朝から登山を開始し、妙高山登山後、下りで他の会員が遅れ、それに付き合って行動していた。黒沢池小屋についたのが、夜8時頃で食欲がないといい、夕食を取らずにすぐに就寝。夜中に息苦しそうで朝はトイレに行くにも休憩しつつ行く状況。天候が悪くヘリが飛ばず、消防隊が駆けつけくれたが、間に合わなかった。	死亡（9/28 時点死因不明）
30	9/14	兵庫	56	女	蓼科山	無雪期登山	転倒	登り道のガレ場を歩行中、滑りのある石で足が滑り、着地点にも窪みがあったため水平に着地することができず、右足を挫いてしまった。	右足関節剥離骨折
31	9/12	新潟	57	男	冠着山（姥捨山）	登攀	転・滑落	登攀後にEボルダーからAボルダーへエリア内を移動中、濡れた岩で足を滑らせ背中から転倒し崖側へ転落。その後ザックの重みから横向きに回転し、そのまま回転しながら20mほど滑落し木にぶつかった事により止まった。	高エネルギー外傷（口唇裂傷、多発打撲・擦過傷）
32	9/28	東京	28	男	谷川岳	登攀	転・滑落	3ルンゼF3の2段目落口付近を登攀中、パーミングでホールドしていた草付きが根元から土ごと剥がれて墜落、支点の下向き残置ハーケンが破断して、2段目取付きまで10mグラウンドフォールした。	左手首開放骨折、左骨盤骨折
33	9/28	東京	25	男	大朝日岳	沢登り	転・滑落	小滝の高巻き中、足を滑らせ3～4m滑落、右のこめかみと腰を打つ。当日の移動は困難だったためその場で安静にしてビバーク。翌日に自力移動ができるようになったため、同行者の補助を得て往路を引き返し下山。	腰椎圧迫骨折、内耳振盪、眼球振盪、鼓膜穿孔、外傷性顎関節

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	2	0	0	2	3	9	1	0	17
女性	0	0	1	7	6	2	0	0	16
合計	2	0	1	9	9	11	1	0	33

形態	無雪期	積雪期	人工壁	海外登山	登攀	氷瀑	沢登り	訓練	合計
男性	10	1	0	1	4	0	1	0	17
女性	12	0	0	0	1	0	3	0	16
合計	22	0	0	1	5	0	4	1	33

原因	転倒	転・滑落	体勢	落石	虫・動植物	病気	道迷い	その他	合計
男性	2	7	0	1	1	2	1	3	17
女性	6	6	0	0	1	0	0	3	16
合計	8	13	0	1	2	2	1	6	33

傷病	骨折	刺傷	咬傷	捻挫	脱臼	打撲	損傷	その他(死亡含)	合計
男性	8	1	3	2	1	1	0	1	17
女性	11	0	0	3	0	0	2	0	16
合計	19	1	3	5	1	1	2	1	33

その他:転滑落停止1、肉離れ1、足首の腫れ1、
トロッコ道の踏み外し1、飛び込みの打撲2

その他: 肉離れ1

JWAF CALENDAR 2025



2025年 カレンダー

申込案内



会員が撮影した
写真13点で綴る
労山オリジナルの
カレンダー！

壁掛けタイプ
364mm × 515mm
B4 中綴じ・28ページ
日曜始まり



- ★労山会員は所属会を通じてお申し込みください。
価格も所属会へお尋ねください。
- ★カレンダーの詳細はホームページをご覧ください。
ご注文をお待ちしています！